

岡山科学技術専門学校

学科名 (国際情報学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	コンピュータ概論	英文名	Computer Introduction				学科科目 番号	1-1
担当者	法華 秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期：4 時間（回数：17 回）		後期：4 時間（回数：17 回）			授業時数	136 時間
教材 教具	情報処理試験合格へのパスポート コンピュータ概論（ウイネット）							
担当者の 実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） IT パスポートは、国際情報学科として最も重要な資格であり全学生が受験をする。当科目はその受験対策としてコンピュータの構造や基礎理論、情報システムのマネジメントなどについて、合格に足る十分な知識を身につける学習内容である。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）				コマシラバス（後 期）				
1	コンピュータの基礎知識			1	システムの構成要素			
2	"			2	"			
3	"			3	"			
4	小テスト			4	小テスト			
5	コンピュータの数値表現			5	ソフトウェア			
6	"			6	"			
7	小テスト			7	"			
8	定期試験			8	小テスト			
9	補数・数値表現			9	定期試験			
10	"			10	マルチメディア			
11	"			11	"			
12	小テスト			12	"			
13	ハードウェア			13	小テスト			
14	"			14	AI（人工知能）			
15	"			15	"			
16	小テスト			16	小テスト			
17	定期試験			17	定期試験			
授業方法 (授業の進め方)		教科書やプリントでの説明と演習問題の解答で理解度を確認しながら進める。						
到達目標		各章ごとのポイントが理解でき、章末問題を解くことができること。						
成績評価の 方法と基準		年間 4 回の中間・期末考査、随時行う小テスト：30% 出席率：30% 授業態度：40% 以上の項目を合計し、評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		授業ごとの予習・復習を心掛ける。特に復習。						
履修に当たって の留意点		授業態度点は、授業中の私語や居眠り、机上整理、言葉遣い、授業に取り組む積極的な姿勢などを評価する。						

岡山科学技術専門学校

学科名 (国際情報学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	アルゴリズム	英文名	Algorithm				学科科目 番号	1-2
担当者	小野 英樹	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期：4 時間（回数：17 回）		後期：4 時間（回数：17 回）			授業時数	136 時間
教材 教具	アルゴリズムとデータ構造（ウィネット）							
担当者の 実務 経験	システム開発会社にて、ソフトウェアのシステム設計・開発、データベース・ネットワーク構築							
【学修内容】科目のねらい（目的） 問題を解くための計算法であるアルゴリズムについて、これを理解する素質と代表的なアルゴリズムについての知識を得ます。またアルゴリズムを利用し具体的に問題解決を行うための力を数値解析の遂行なども取り入れつつ身につけます。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）				コマシラバス（後 期）				
1	第 1 章 アルゴリズム入門			1	第 6 章 探索のアルゴリズム			
2	"			2	"			
3	"			3	"			
4	第 2 章 流れ図の基本パターン			4	第 7 章 整列のアルゴリズム			
5	"			5	"			
6	"			6	"			
7	第 3 章 擬似言語の基本パターン			7	"			
8	"			8	定期試験			
9	"			9	第 8 章 データ構造			
10	定期試験			10	"			
11	第 4 章 計算のアルゴリズム			11	"			
12	"			12	"			
13	"			13	第 9 章 実践アルゴリズム			
14	第 5 章 配列の操作			14	"			
15	"			15	"			
16	"			16	"			
17	定期試験			17	定期試験			
授業方法 (授業の進め方)		教科書やプリントでの説明と演習問題の解答で理解度を確認しながら進める。						
到達目標		各章ごとのポイントが理解でき、章末問題を解くことができること。						
成績評価の 方法と基準		年間 4 回の中間・期末考査、随時行う小テスト：30% 出席率：30% 授業態度：40% 以上の項目を合計し、評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		授業ごとの予習・復習を心掛ける。特に復習。						
履修に当たって の留意点		授業態度点は、授業中の私語や居眠り、机上整理、言葉遣い、授業に取り組む積極的な姿勢などを評価する。						

岡山科学技術専門学校

学科名 (国際情報学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	Python 実習 I	英文名	Python I				学科科目 番号	1-3
担当者	土井 迪広 岡本 茂樹	実務経験 の有無	無 有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・実習	
開講期	通年	前期：2 時間（回数：17 回）		後期：2 時間（回数：17 回）			授業時数	68 時間
教材 教具	Python1 年生 第 2 版 体験してわかる！会話でまなべる！プログラミングのしくみ（翔泳社）							
担当者の 実務 経験	メーカー系ソフトウェア会社で、北米向け電子交換機のデータジェネレータ開発に従事後、工業高校で主に情報系の教科やロボコンを指導しながら、学校のシステム管理を担当した。（岡本）							
【学修内容】科目のねらい（目的） Web 開発やデータ分析などの分野で人気のある Python で、簡単なサンプルを作りながら、会話形式でプログラミングを学ぶ。後期後半はアプリケーションの作成を行い応用力を身につける。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）				コマシラバス（後 期）				
1	第1章 Python で何ができるの？			1	アプリケーション作成			
2	パソコン操作練習			2	"			
3	パソコン開発環境整備			3	"			
4	"			4	"			
5	第 2 章 Python を触ってみよう			5	第 5 章 人工知能(チノ)くんと遊んでみよう			
6	"			6	"			
7	"			7	アプリケーション作成			
8	"			8	アプリケーション作成			
9	定期試験			9	定期試験			
10	第 3 章 プログラムの基本を知ろう			10	アプリケーション作成			
11	"			11	アプリケーション作成			
12	"			12	アプリケーション作成			
13	"			13	アプリケーション作成			
14	第 4 章 アプリを作ってみよう			14	アプリケーション作成			
15	"			15	アプリケーション作成			
16	"			16	アプリケーション作成			
17	定期試験			17	定期試験			
授業方法 (授業の進め方)		授業は教科書で基本構文を学んだ後、練習問題をパソコンで実習する。						
到達目標		Python のモジュールやプログラムを読み書きでき、ライブラリのモジュールを利用できる。(Python3 エンジニア認定基礎試験 合格レベル)						
成績評価の方法と基準		・年間 4 回の中間・期末試験および実習課題：60% ・出席率：20% ・授業態度点：20%						
授業時間以外に必要な学修		・課題・レポートは期日までに作成して提出する。						
履修に当たっての留意点		授業態度点は、授業中の私語や居眠り、机上整理、言葉遣い、授業に取り組む積極的な姿勢があるかどうかなど平素の行動を評価するものである。						

岡山科学技術専門学校

学科名 (国際情報学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	HTML/Web 実習	英文名	HTML/WebPage				学科科目 番号	1-4
担当者	土井 迪広	実務経験 の有無	無	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・実習	
開講期	通年	前期：4 時間（回数：17 回）		後期：4 時間（回数：17 回）			授業時数	68 時間
教材 教具	HTML5&CSS3 ワークブック 第2版 （カットシステム）							
担当者の 実務 経験								
【学修内容】科目のねらい（目的） HTML は Web サイト作成や Web 開発などの基盤であり、最も重要な言語です。書き方や特徴について学びます。1 年生で回り込みの C S S あたりまで学修し、続きを 2 年生で学習します。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）					
1	HTML ファイルと WEB サーバー		1	角丸、影、半透明の CSS				
2	タグの基本と改行		2	div 要素とspan 要素				
3	見出しと段落		3	回り込みの CSS				
4	文字の装飾		4	フレックスボックスを使った配置				
5	画像の掲載		5	リンク CSS				
6	リンクの作成－1		6	CSS のまとめ				
7	リンクの作成－2		7	表の作成				
8	CSS の基本－1		8	表の CSS 指定				
9	定期試験		9	定期試験				
10	CSS の基本－2		10	グループ化とセルの結合				
11	文字書式の CSS－1		11	リストの作成と活用				
12	文字書式の CSS－2		12	ページレイアウトの作成－1				
13	CSS の色指定		13	ページレイアウトの作成－2				
14	背景の CSS		14	CSS ファイルの活用				
15	サイズと枠線の CSS		15	インラインフレームの作成				
16	余白の CSS		16	フォームの作成				
17	定期試験		17	定期試験				
授業方法 (授業の進め方)		授業は基本タグを学んだ後、練習問題で実習する。						
到達目標		HTML CSS を使って Web サイトを作成できる。						
成績評価の 方法と基準		・年間 4 回の中間・期末試験および実習課題：60% ・出席率：20% ・授業態度点：20%						
授業時間以外に 必要な学修		・課題・レポートは期日までに作成して提出する。						
履修に当たって の留意点		授業態度点は、授業中の私語や居眠り、机上整理、言葉遣い、授業に取り組む積極的な姿勢があるかどうかなど平素の行動を評価するものである。						

岡山科学技術専門学校

学科名 (国際情報学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	生活の日本語	英文名	Japanese Everyday				学科科目 番号	1-5
担当者	中村菊子	実務経験 の有無	無	選択 必修	必修	科目 区分	一般科目・講義	
開講期	通年	前期： 68 時間（回数：17 回）		後期： 68 時間（回数：17 回）		授業時数	136 時間	
教材 教具	まるごと 日本のことばと文化 初中級							
担当者の 実務 経験								
【学修内容】 科目のねらい（目的） 具体的な文脈や場面と結びつけながら、実際のコミュニケーション場面で使える日本語の習得を目指す。								
【授業計画】 コマシラバス（前期）				コマシラバス（後期）				
1	会話の基礎（1）		1	結婚（1）				
2	スポーツの試合（1）		2	結婚（2）				
3	スポーツの試合（2）		3	結婚（3）				
4	家をさがす（1）		4	なやみ相談（1）				
5	家をさがす（2）		5	なやみ相談（2）				
6	ほっとする食べ物（1）		6	なやみ相談（3）				
7	ほっとする食べ物（2）		7	旅行中のトラブル（1）				
8	訪問（1）		8	旅行中のトラブル（2）				
9	ふりかえり		9	ふりかえり				
10	中間試験		10	中間試験				
11	訪問（2）		11	旅行中のトラブル（3）				
12	訪問（3）		12	仕事をさがす（1）				
13	ことばを学ぶ楽しみ（1）		13	仕事をさがす（2）				
14	ことばを学ぶ楽しみ（2）		14	仕事をさがす（3）				
15	ことばを学ぶ楽しみ（3）		15	仕事をさがす（4）				
16	ふりかえり		16	ふりかえり				
17	期末試験		17	期末試験				
授業方法 授業の進め方		各回「聞く」「話す」を中心としたコミュニケーション活動とコミュニケーションを支える言語構造（文法・文型）の学習を進めていく。						
到達目標		・学校、仕事、娯楽で普段出合うような身近な話題について理解できる。 ・日本で生活する時に起こりそうな事態に対処することができる。 ・身近な話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のあるテキストを作ることができるとともに、経験、できごと、夢、希望などを説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べることができる。						
成績評価の方法と基準		出席点 40%、授業態度 20%、試験（会話をしながらのインターアクションテストと筆記試験）および授業の理解度による評価点 40%						
授業時間以外に必要な学修		教室外での日本語の使用						
履修に当たっての留意点		授業に取り組む姿勢は積極的に会話に参加する態度やノートをとるなど勉強に対する意欲で評価する。						

岡山科学技術専門学校

学科名 (国際情報学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	日本語能力試験対策 I-1	英文名	Japanese Language Proficiency Test I				学科科目 番号	1-6
担当者	平野裕久 中村菊子	実務経験 の有無	無	選択 必修	必修	科目 区分	一般科目・講義	
開講期	前期	前期：4 時間（回数：17 回）		後期：時間（回数：回）			授業時数	68 時間
教材 教具	・ N3 聴解スピードマスター ・ JLPT 読解 N3 ポイント&プラクティス							
担当者の 実務 経験								
【学修内容】科目のねらい（目的） N3 レベル相当の聴解および読解試験に十分な日本語力を身につける。同時に身につけた力を社会生活でも運用できるようにする。								
【授業計画】 コマシラバス（前期）				コマシラバス（後期）				
1	イントロダクション：授業の進め方・試験問題のスタイル解説			1	前期の復習			
2	ウォーミングアップ（いろいろな表現）			2	聴解：課題理解、読解：読み方ポイント 6 (2)			
3	聴解：課題理解、読解：読み方ポイント 1			3	聴解：ポイント理解、読解：読み方ポイント 7(2)			
4	聴解：ポイント理解、読解：読み方ポイント 2			4	聴解：概要理解、読解：読み方ポイント 8(2)			
5	聴解：概要理解、読解：読み方ポイント 3			5	聴解：発話理解、読解：読み方ポイント 9(2)			
6	聴解：発話理解、読解：読み方ポイント 4			6	聴解：即時応答、読解：読み方ポイント 10(2)			
7	聴解：即時応答、読解：読み方ポイント 5			7	聴解：課題理解、読解：読み方ポイント 11(2)			
8	ふりかえり			8	聴解：ポイント理解、読解：読み方ポイント 12(2)			
9	中間模擬試験			9	中間模擬試験			
10	聴解：課題理解、読解：読み方ポイント 6(1)			10	聴解：概要理解、読解：短文			
11	聴解：ポイント理解、読解：読み方ポイント 7(1)			11	聴解：発話理解、読解：中文			
12	聴解：概要理解、読解：読み方ポイント 8(1)			12	聴解：即時応答、読解：中文			
13	聴解：発話理解、読解：読み方ポイント 9(1)			13	聴解：課題理解、読解：中文			
14	聴解：即時応答、読解：読み方ポイント 10(1)			14	聴解：課題理解、読解：長文			
15	聴解：課題理解、読解：読み方ポイント 11(1)			15	聴解：概要理解、読解：長文			
16	聴解：課題理解、読解：読み方ポイント 12(1)			16	ふりかえり			
17	期末模擬試験			17	期末模擬試験			
授業方法 (授業の進め方)		主に週の初めの授業で聴解、2 回目の授業で読解を実施する。授業の構成は各授業の目標を示したうえで、新出語彙や文法をチェックし、問題を解き、その後解説をする形をとる。尚、授業全般で学生と質疑応答を交えながら行う。						
到達目標		日本語能力試験 N3 において、80 パーセント以上正答できる力を身につけることを目標とする。また、試験だけでなく、実際の生活で最低限必要な理解力を習得することも目標とする。						
成績評価の方法と基準		N3 模試における理解度および授業の出席状況、授業態度を総合的に評価する。						
授業時間以外に必要な学修		聴解においては必要最低限の N3 の語彙について学習する。読解においては理解できなかったこと、知らない言葉は必ず復習し、理解をし、覚える。						
履修に当たっての留意点		試験対策の授業ではあるが、質疑応答をしながら進めるので、積極的な参加を望む。パターン別の適切な解き方や文章のタイプ別の読み取るポイントも習得できるように心がける。						

岡山科学技術専門学校

学科名 (国際情報学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	日本語能力試験対策 I-2	英文名	Japanese Language Proficiency Test I				学科科目 番号	1-7
担当者	平野裕久 中村菊子	実務経験 の有無	無	選択 必修	選択	科目 区分	一般科目・講義	
開講期	前期	前期：時間（回数：回）		後期：4 時間（回数：17 回）			授業時数	68 時間
教材 教具	・ N3 聴解スピードマスター ・ JLPT 読解 N3 ポイント&プラクティス							
担当者の 実務 経験								
【学修内容】科目のねらい（目的） N3 レベル相当の聴解および読解試験に十分な日本語力を身につける。同時に身につけた力を社会生活でも運用できるようにする。								
【授業計画】 コマシラバス（前期）				コマシラバス（後期）				
1	イントロダクション：授業の進め方・試験問題のスタイル解説			1	前期の復習			
2	ウォーミングアップ（いろいろな表現）			2	聴解：課題理解、読解：読み方ポイント 6 (2)			
3	聴解：課題理解、読解：読み方ポイント 1			3	聴解：ポイント理解、読解：読み方ポイント 7(2)			
4	聴解：ポイント理解、読解：読み方ポイント 2			4	聴解：概要理解、読解：読み方ポイント 8(2)			
5	聴解：概要理解、読解：読み方ポイント 3			5	聴解：発話理解、読解：読み方ポイント 9(2)			
6	聴解：発話理解、読解：読み方ポイント 4			6	聴解：即時応答、読解：読み方ポイント 10(2)			
7	聴解：即時応答、読解：読み方ポイント 5			7	聴解：課題理解、読解：読み方ポイント 11(2)			
8	ふりかえり			8	聴解：ポイント理解、読解：読み方ポイント 12(2)			
9	中間模擬試験			9	中間模擬試験			
10	聴解：課題理解、読解：読み方ポイント 6(1)			10	聴解：概要理解、読解：短文			
11	聴解：ポイント理解、読解：読み方ポイント 7(1)			11	聴解：発話理解、読解：中文			
12	聴解：概要理解、読解：読み方ポイント 8(1)			12	聴解：即時応答、読解：中文			
13	聴解：発話理解、読解：読み方ポイント 9(1)			13	聴解：課題理解、読解：中文			
14	聴解：即時応答、読解：読み方ポイント 10(1)			14	聴解：課題理解、読解：長文			
15	聴解：課題理解、読解：読み方ポイント 11(1)			15	聴解：概要理解、読解：長文			
16	聴解：課題理解、読解：読み方ポイント 12(1)			16	ふりかえり			
17	期末模擬試験			17	期末模擬試験			
授業方法 (授業の進め方)	主に週の初めの授業で聴解、2 回目の授業で読解を実施する。授業の構成は各授業の目標を示したうえで、新出語彙や文法をチェックし、問題を解き、その後解説をする形をとる。尚、授業全般で学生と質疑応答を交えながら行う。							
到達目標	日本語能力試験 N3 において、80 パーセント以上正答できる力を身につけることを目標とする。また、試験だけでなく、実際の生活で最低限必要な理解力を習得することも目標とする。							
成績評価の 方法と基準	N3 模試における理解度および授業の出席状況、授業態度を総合的に評価する。							
授業時間以外に 必要な学修	聴解においては必要最低限の N3 の語彙について学習する。読解においては理解できなかったこと、知らない言葉は必ず復習し、理解をし、覚える。							
履修に当たって の留意点	試験対策の授業ではあるが、質疑応答をしながら進めるので、積極的な参加を望む。パターン別の適切な解き方や文章のタイプ別の読み取るポイントも習得できるように心がける。							

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	Python 実践 I	英文名	Python practice I				学科科目 番号	1-8
担当者	岡本 茂樹	実務経験 の有無	有	選択 必修	選択	科目 区分	専門科目・実習	
開講期	通年	前期：なし		後期：2 時間（回数：17 回）			授業時数	68 時間
教材 教具	教員作成プリント 参考書 最短距離でゼロからしっかり学ぶ 実践編 Python 入門（技術評論社）							
担当者 の実務 経験	ソフトウェア企業にてシステム設計・製造							
【学修内容】 科目のねらい（目的） Python 実習 I で Python の基礎的文法を履修し、さらに足場を固めるため、具体的で実践的なアプリケーション（シューティングゲーム）を作り上げていく。また一から作り上げていく過程でアプリケーション作成の手法を学ぶことも当該科目の目的とする。								
【授業計画】			コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）		
1			1	Python 実践の学習のねらい				
2			2	第 1 章 弾を発射する宇宙船				
3			3	宇宙船の画像を追加する				
4			4	宇宙船を操作する				
5			5	弾を発射する				
6			6	第 2 章 エイリアン！				
7			7	エイリアンを生成する				
8			8	エイリアンの艦隊を編成する				
9			9	艦隊を動かす				
10			10	エイリアンを撃つ				
11			11	ゲームを終了する				
12			12	第 3 章 得点を表示する				
13			13	Play ボタンを追加する				
14			14	ゲームをリセットする				
15			15	レベルアップする				
16			16	得点を表示する				
17			17	まとめ				
授業方法 (授業の進め方)		授業のテーマごとにプリントを配布し、パソコンでコーディングしていく。アプリケーションをよりよくするために、学生同士の意見交換を重視し、アイディアを出し合い、検討しながら実践していく。						
到達目標		最終的に次の能力を備えることを目標とする。 ・自らの力でプログラムを作成できる ・問題解決のために、順序立てて思考できる						
成績評価の方法と基準		・実習課題およびレポート：60% ・出席率：20% ・授業態度点：20% 以上 3 項目を合計し、評価点を 100 点法で算出する。60 点以上を認定とする。						
授業時間以外に必要な学修		・課題、レポートは期日までに作成して提出する。						
履修に当たっての留意点		授業態度点は、授業中の私語や居眠り、机上整理、言葉遣い、授業に取り組む積極的な姿勢などを評価する。						

岡山科学技術専門学校

学科名 (国際情報学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	社会人基礎		英文名	Basis of Japanese Life				学科科目 番号	1-9
担当者	土井 迪広		実務経験 の有無	無	選択 必修	必修	科目 区分	一般科目・講義	
開講期	通年	前期：1 時間（回数：17 回）		後期：1 時間（回数：17 回）				授業時数	34 時間
教材 教具	「留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール」								

【学修内容】科目のねらい（目的）

日本での就労を希望する留学生が、日本人と一緒に働くために必要なマナーとルールを身に付ける。

【授業計画】 コマシラバス（前期）		コマシラバス（後期）	
1	ビジネスコミュニケーション・日本で働くための心構え	1	社内外のマナー・話を聞く
2	ビジネスコミュニケーション・上司・先輩との付き合い	2	社内外のマナー・指示を受ける
3	ビジネスコミュニケーション・上司・同僚との付き合い	3	社内外のマナー・注意を受ける
4	ビジネスコミュニケーション・就業時間外での付き合い	4	社内外のマナー・退社時
5	ビジネスコミュニケーション・ウチとソト、チームワーク	5	社内外のマナー・名詞
6	ビジネスコミュニケーション・話し方における配慮	6	社内外のマナー・雑談
7	ビジネスコミュニケーション・会議での発言	7	社内外のマナー・席次
8	定期試験	8	定期試験
9	ビジネスルール・時間厳守	9	ビジネススキル・敬語
10	ビジネスルール・就業時間	10	ビジネススキル・話ことばと書きことば
11	ビジネスルール・身だしなみ	11	ビジネススキル・漢字
12	ビジネスルール・あいさつ	12	ビジネススキル・メール
13	ビジネスルール・お辞儀	13	ビジネススキル・文書
14	ビジネスルール・報告・連絡・相談	14	ビジネススキル・郵便物
15	ビジネスルール・情報管理	15	ビジネススキル・電話を受ける
16	ビジネスルール・ハラスメント	16	ビジネススキル・電話をかける
17	定期試験	17	定期試験

授業方法 (授業の進め方)	教科書を使った講義のあと、「話す」「書く」「試す」「意見交換」で習ったことの定着を確認しながら進める。
到達目標	社会人として、他者から「何も知らないのか」と思われることのない言動ができる。
成績評価の方法と基準	a：試験成績 60%：年 4 回の定期試験に日頃の態度・意欲を加えて試験成績を算出する。 b：出席点 40%：全授業時数の 70%以上の出席が必要。これに満たない場合は試験の成績がよくても認定しない。 a と b を合わせて評価点(100 点満点)とし、60 点以上を認定とする。
授業時間以外に必要な学修	アルバイト先、アルバイト中に習ったことを実践してみること。
履修に当たっての留意点	聞くだけの講義ではない。「書いてみる」「話してみる」「行動してみる」に積極的に参加すること。

岡山科学技術専門学校

学科名 (国際情報学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	資格対策Ⅰ（基本情報）	英文名	Preparation courseⅠ (Fundamental information)				学科科目 番号	2-1
担当者	土井 迪広	実務経験 の有無	無	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期：2 時間（回数：17 回）		後期：2 時間（回数：17 回）			授業時数	68 時間
教材 教具	講師が作成したプリント							
担当者の 実務 経験								
【学修内容】科目のねらい（目的） 基本情報技術者試験は、国際情報学科として最も重要な資格であり全学生が受験をする。当科目はその受験対策としてコンピュータの構造や基礎理論、情報システムのマネジメントなどについて、合格に足る十分な知識を身につける学習内容である。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）				コマシラバス（後 期）				
1	ストラテジ系（企業と法務）			1	テクノロジ系（コンピュータシステム）			
2	"			2	"			
3	ストラテジ系（経営戦略）			3	テクノロジ系（技術要素）			
4	"			4	"			
5	ストラテジ系（システム戦略）			5	"			
6	"			6	テクノロジ系（表計算）			
7	マネジメント系（開発技術）			7	"			
8	"			8	"			
9	定期試験			9	定期試験			
10	マネジメント系（プロジェクトマネジメント）			10	IT パスポート試験対策			
11	"			11	"			
12	マネジメント系（サービスマニュアル）			12	"			
13	"			13	"			
14	テクノロジ系（基礎理論）			14	"			
15	"			15	模擬問題 1			
16	復習			16	模擬問題 2			
17	定期試験			17	定期試験			
授業方法 (授業の進め方)		プリントでの説明と演習問題の解答で理解度を確認しながら進める。						
到達目標		各章ごとのポイントが理解でき、章末問題を解くことができること。						
成績評価の 方法と基準		年間 4 回の中間・期末考査、随時行う小テスト：30% 出席率：30% 授業態度：40% 以上の項目を合計し、評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		授業ごとの予習・復習を心掛ける。特に復習。						
履修に当たって の留意点		授業態度点は、授業中の私語や居眠り、机上整理、言葉遣い、授業に取り組む積極的な姿勢などを評価する。						

岡山科学技術専門学校

学科名 (国際情報学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	資格対策Ⅱ（Python）	英文名	Preparation courseⅡ (Python)				学科科目 番号	2-2
担当者	土井 迪広	実務経験 の有無	無	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期：2 時間（回数：17 回）		後期：2 時間（回数：17 回）			授業時数	68 時間
教材 教具	講師作成のプリント							
担当者の 実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） IT パスポートは、国際情報学科として最も重要な資格であり全学生が受験をする。当科目はその受験対策としてコンピュータの構造や基礎理論、情報システムのマネジメントなどについて、合格に足る十分な知識を身につける学習内容である。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）				コマシラバス（後 期）				
1	Python の特徴			1	モジュール			
2	Python の特徴			2	モジュール			
3	テキストの数と操作			3	ファイル入出力			
4	テキストの数と操作			4	ファイル入出力			
5	テキストの数と操作			5	例外処理			
6	リスト操作			6	例外処理			
7	リスト操作			7	クラスとオブジェクト			
8	リスト操作			8	クラスとオブジェクト			
9	定期試験			9	定期試験			
10	関数			10	標準ライブラリ			
11	関数			11	標準ライブラリ			
12	関数			12	仮想環境とサードパーティパッケージの利用			
13	コレクションの操作			13	仮想環境とサードパーティパッケージの利用			
14	コレクションの操作			14	模擬問題			
15	コレクションの操作			15	模擬問題			
16	復習			16	模擬問題			
17	定期試験			17	定期試験			
授業方法 (授業の進め方)		教科書やプリントでの説明と演習問題の解答で理解度を確認しながら進める。						
到達目標		各章ごとのポイントが理解でき、章末問題を解くことができること。						
成績評価の 方法と基準		年間 4 回の中間・期末考査、随時行う小テスト：30% 出席率：30% 授業態度：40% 以上の項目を合計し、評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		授業ごとの予習・復習を心掛ける。特に復習。						
履修に当たって の留意点		授業態度点は、授業中の私語や居眠り、机上整理、言葉遣い、授業に取り組む積極的な姿勢などを評価する。						

岡山科学技術専門学校

学科名 (国際情報学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	Python 実習Ⅱ	英文名	Python Ⅱ				学科科目 番号	2-3
担当者	岡本 茂樹	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・実習	
開講期	通年	前期：8 時間（回数：17 回）		後期：8 時間（回数：17 回）			授業時数	272 時間
教材 教具	Python2 年生 体験してわかる！会話でまなべる！スクレイピングのしくみ（翔泳社）							
担当者の 実務 経験	メーカー系ソフトウェア会社で、北米向け電子交換機のデータジェネレータ開発に従事後、工業高校で主に情報系の教科やロボコンを指導しながら、学校のシステム管理を担当した。							
【学修内容】科目のねらい（目的） データの収集と分析を得意とするプログラミング言語 Python を使って、Web スクレイピングを学ぶ。また収集したデータを利用して分析を行い、問題を解決する技術を身につける。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）				コマシラバス（後 期）				
1	Python でデータをダウンロード		1	データ分析って何？				
2	〃		2	〃				
3	HTML を解析しよう		3	集めたデータは前処理が必要				
4	〃		4	〃				
5	〃		5	〃				
6	表データを読み書きしよう		6	データの集まりをひとことという？：代表値				
7	〃		7	〃				
8	〃		8	〃				
9	定期試験		9	定期試験				
10	オープンデータを分析してみよう		10	図で特徴をイメージしよう：グラフ				
11	〃		11	〃				
12	〃		12	これって普通なこと？珍しいこと？：正規分布				
13	Web API でデータを収集しよう		13	〃				
14	〃		14	関係から予測しよう：回帰分析				
15	〃		15	〃				
16	復習		16	復習				
17	定期試験		17	定期試験				
授業方法 (授業の進め方)		授業は教科書で基本構文を学んだ後、練習問題をパソコンで実習する。						
到達目標		Python のモジュールやプログラムを読み書きでき、Web から収集したデータを元に分析を行い、問題解決に役立てることができる。						
成績評価の方法と基準		・年間 4 回の中間・期末試験および実習課題：60% ・出席率：20% ・授業態度点：20%						
授業時間以外に必要な学修		・課題・レポートは期日までに作成して提出する。						
履修に当たっての留意点		授業態度点は、授業中の私語や居眠り、机上整理、言葉遣い、授業に取り組む積極的な姿勢があるかどうかなど平素の行動を評価するものである。						

岡山科学技術専門学校

学科名 (国際情報学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	HTML/Web 実習	英文名	HTML/WebPage				学科科目 番号	2-4
担当者	岡本 茂樹	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・実習	
開講期	通年	前期：4 時間（回数：17 回）		後期：4 時間（回数：17 回）			授業時数	68 時間
教材 教具	HTML5&CSS3 ワークブック 第2版（カットシステム）と副教材							
担当者の 実務 経験	メーカー系ソフトウェア会社で、北米向け電子交換機のデータジェネレータ開発に従事後、工業高校で主に情報系の教科やロボコンを指導しながら、学校のシステム管理を担当した。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） ホームページだけでなくアプリケーションのユーザインターフェース作成に欠かせない HTML・CSS について1年生からの続きから学びます。後期からはいろいろなホームページを作成します。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）				コマシラバス（後 期）				
1	HTML/CSS 復習		1	ホームページ作成実習				
2	HTML/CSS 復習		2	〃				
3	HTML/CSS 復習		3	〃				
4	フレックスボックスを使った配置		4	〃				
5	リンクCSS		5	〃				
6	CSSのまとめ		6	ホームページ公開実習				
7	表の作成		7	ホームページ公開実習				
8	表のCSS指定		8	ホームページ公開実習				
9	定期試験		9	定期試験				
10	グループ化とセルの結合		10	Web デザイン実習				
11	リストの作成と活用		11	〃				
12	ページレイアウトの作成ー1		12	〃				
13	ページレイアウトの作成ー2		13	〃				
14	CSSファイルの活用		14	CMS 実習				
15	インラインフレームの作成		15	〃				
16	フォームの作成		16	〃				
17	定期試験		17	定期試験				
授業方法 (授業の進め方)		授業は基本タグを学んだ後、練習問題で実習する。						
到達目標		HTML CSS を使って Web サイトを作成できる。						
成績評価の 方法と基準		・年間 4 回の中間・期末試験および実習課題：60% ・出席率：20% ・授業態度点：20%						
授業時間以外に 必要な学修		・課題・レポートは期日までに作成して提出する。						
履修に当たって の留意点		授業態度点は、授業中の私語や居眠り、机上整理、言葉遣い、授業に取り組む積極的な姿勢があるかどうかなど平素の行動を評価するものである。						

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	データベース実習	英文名	Database				学科科目 番号	2-5
担当者	加川 順一	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・実習	
開講期	通年	前期：4 時間（回数：17 回）		後期：4 時間（回数：17 回）			授業時数	128 時間
教材 教具	スッキリわかる SQL 入門（インプレスジャパン）							
担当者 の実務 経験	システム会社にて、ネットワーク・データベースの構築							
【学修内容】 科目のねらい（目的） 情報システムにおけるデータベースの役割を理解します。授業では図書館管理システムにおけるデータの流れやデータベースシステムを取り上げて学習をします。正規化を学び、基礎的なリレーショナルデータベースを設計します。MySQL を使用した実習により、データベースを管理・運用する技術を学びます。あわせて SQL 言語を習得します。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）				コマシラバス（後 期）				
1	データベースを学ぶにあたって			1	集計とグループ化			
2	はじめての SQL			2	集計とグループ化			
3	はじめての SQL			3	副問合せ			
4	基本文法と4大命令			4	副問合せ			
5	基本文法と4大命令			5	副問合せ			
6	基本文法と4大命令			6	複数テーブルの結合			
7	操作する行の絞り込み			7	複数テーブルの結合			
8	操作する行の絞り込み			8	トランザクション			
9	操作する行の絞り込み			9	中間試験			
10	中間試験			10	テーブルの作成			
11	検索結果の加工			11	テーブルの作成			
12	検索結果の加工			12	さまざまな支援機能			
13	式と関数			13	さまざまな支援機能			
14	式と関数			14	テーブルの設計			
15	式と関数			15	テーブルの設計			
16	復習			16	復習			
17	前期末試験			17	学年末試験			
授業方法 (授業の進め方)		毎回の講義におけるミニレポート、学期末に作成するプログラムに関するレポート、ならびに、毎回の講義における課題や実習の進捗を総合的に評価する。						
到達目標		本講義では、特に、Web 環境を対象としたデータベース技術の適用を学ぶ。これにより、サーチエンジンなど Web 環境における情報の格納・集約・検索システムを実現するための基礎能力の習得を目指す。						
成績評価の方法と基準		・年間 4 回の中間・期末試験および実習課題：60% ・出席率：20% ・授業態度点：20%						
授業時間以外に必要な学修		・課題・レポートは期日までに作成して提出する。						
履修に当たっての留意点		授業態度点は、授業中の私語や居眠り、机上整理、言葉遣い、授業に取り組む積極的な姿勢があるかどうかなど平素の行動を評価するものである。						

岡山科学技術専門学校

学科名 (国際情報学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	ビジネス日本語Ⅱ (Office)	英文名	Business Japanese				学科科目 番号	2-6
担当者	土井 迪広 岡本 茂樹	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・実習	
開講期	通年	前期：2 時間（回数：17 回）		後期：2 時間（回数：17 回）			授業時数	68 時間
教材 教具	よくわかる Word 2021 & Excel 2021 & PowerPoint 2021							
担当者の 実務 経験	メーカー系ソフトウェア会社で、北米向け電子交換機のデータジェネレータ開発に従事後、工業高校で主に情報系の教科やロボコンを指導しながら、学校のシステム管理を担当した。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） Microsoft Office の基本的な操作・使用方法を学ぶ。 扱う文書を業務でよく使う形式・内容として、日本のビジネス慣習になれる。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）				コマシラバス（後 期）				
1	第 1 章 さあ始めよう Word 2021			1	第 10 章 さあ始めよう PowerPoint 2021			
2	第 2 章 文書を作成 Word 2021			2				
3				3	第 11 章 プレゼンテーション PowerPoint 2021			
4	第 3 章 グラフィックス機能を使う Word 2021			4				
5				5	第 12 章 スライドショー PowerPoint 2021			
6	第 4 章 表のある文書 Word 2021			6				
7	定期試験			7	第 13 章 アプリ間でデータ共有			
8	第 5 章 さあ始めよう Excel 2021			8	定期試験			
9	第 6 章 データ入力 Excel 2021			9	総合課題			
10				10	総合課題			
11	第 7 章 表を作成 Excel 2021			11	総合課題			
12				12	総合課題			
13	第 8 章 グラフを作成 Excel 2021			13	総合課題			
14				14	総合課題			
15	第 9 章 データを分析 Excel 2021			15	総合課題			
16				16	総合課題			
17	定期試験			17	定期試験			
授業方法 (授業の進め方)		授業は教科書に沿って進める。授業時間中は疑問に答える場とする。また、教科書には載っていない Tips も紹介する。最後は総合演習で締めくくる。						
到達目標		・ Microsoft Office の 3 つのアプリの基本操作ができるようになること ・ 作業の内容、扱うデータによって最適なアプリが選択できるようになること ・ 定型に沿ったビジネス文書作りができること						
成績評価の 方法と基準		・ 実習課題できばえ点：70% ・ 出席点：30%						
授業時間以外 に必要な学修		・ 自宅でもパソコンに向かい、授業の復習、予習を行うことが必要 ・ 課題・レポートは期日までに作成して提出すること						
履修に当たっ ての留意点		授業中に終了できない課題については、自宅で仕上げるくらいの意識が必要。						

【令和 7 年度 シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名（国際情報学科）

※授業の 1 単位時間は 45 分とする

科目名	日本語能力試験対策Ⅱ		英文名	Japanese Language Proficiency Test Ⅱ				学科科目番号	2-7
担当者	平野 裕久 中村 菊子		実務経験の有無	無	選択必修	必修	科目区分	一般科目・講義	
開講期	通年	前期：4 時間（回数：17 回）		後期：4 時間（回数：17 回）				授業時数	136 時間
教材 教具	① N2/N1 読解スピードマスター ② N2/N1 聴解スピードマスター ③ ドリル&ドリル日本語能力試験 N2/N1 聴解・読解								

【学修内容】科目のねらい（目的）

N1 レベル相当の読解および聴解試験に十分な日本語力を身につける。
同時に身につけた力を社会生活でも運用できるようにする。

【授業計画】 コマシラバス（前 期）				コマシラバス（後 期）			
1	イントロダクション:授業の進め方・JLPTの問題のスタイルの解説	1	前期の復習	1	前期の復習	1	前期の復習
2	キーワード・解き方の説明(パターン別攻略法)、例題①	2	実戦練習①(読解:長文、聴解:課題理解①)	2	実戦練習①(読解:長文、聴解:課題理解①)	2	実戦練習①(読解:長文、聴解:課題理解①)
3	例題②	3	実戦練習②(読解:長文、聴解:課題理解②)	3	実戦練習②(読解:長文、聴解:課題理解②)	3	実戦練習②(読解:長文、聴解:課題理解②)
4	実戦練習①(読解:短文、聴解:課題理解)	4	実戦練習③(読解:情報検索、聴解:ポイント理解①)	4	実戦練習③(読解:情報検索、聴解:ポイント理解①)	4	実戦練習③(読解:情報検索、聴解:ポイント理解①)
5	実戦練習②(読解:短文、聴解:ポイント理解)	5	実戦練習④(読解:情報検索、聴解:ポイント理解②)	5	実戦練習④(読解:情報検索、聴解:ポイント理解②)	5	実戦練習④(読解:情報検索、聴解:ポイント理解②)
6	実践練習③(読解:短文、聴解:概要理解)	6	実戦練習⑤(読解:情報検索、聴解:概要理解①)	6	実戦練習⑤(読解:情報検索、聴解:概要理解①)	6	実戦練習⑤(読解:情報検索、聴解:概要理解①)
7	実戦練習④(読解:中文、聴解:発話表現、即時応答)	7	実戦練習⑥(読解:情報検索、聴解:概要理解②)	7	実戦練習⑥(読解:情報検索、聴解:概要理解②)	7	実戦練習⑥(読解:情報検索、聴解:概要理解②)
8	実戦練習⑤(読解:中文、聴解:模擬試験①)	8	中間模擬試験	8	中間模擬試験	8	中間模擬試験
9	中間模擬試験	9	実戦練習⑦(読解:情報理解、聴解:模擬試験)	9	実戦練習⑦(読解:情報理解、聴解:模擬試験)	9	実戦練習⑦(読解:情報理解、聴解:模擬試験)
10	実戦練習⑥(読解:中文、聴解:模擬試験②)	10	実戦練習⑧(読解:情報理解、聴解:模擬試験【解説】)	10	実戦練習⑧(読解:情報理解、聴解:模擬試験【解説】)	10	実戦練習⑧(読解:情報理解、聴解:模擬試験【解説】)
11	実戦練習⑦(読解:中文、聴解:復習)	11	実戦練習⑨(読解:模擬試験:聴解:試験練習①)	11	実戦練習⑨(読解:模擬試験:聴解:試験練習①)	11	実戦練習⑨(読解:模擬試験:聴解:試験練習①)
12	実戦練習⑧(読解:長文、聴解:音についての理解および文の種類の解説)	12	実戦練習⑩(読解:模擬試験【解説】、聴解:試験練習②)	12	実戦練習⑩(読解:模擬試験【解説】、聴解:試験練習②)	12	実戦練習⑩(読解:模擬試験【解説】、聴解:試験練習②)
13	実戦練習⑨(読解:長文、聴解:発話表現①)	13	実戦練習⑪(読解:試験練習①、聴解:試験練習③)	13	実戦練習⑪(読解:試験練習①、聴解:試験練習③)	13	実戦練習⑪(読解:試験練習①、聴解:試験練習③)
14	実戦練習⑨(読解:長文、聴解:発話表現②)	14	実戦練習⑪(読解:試験練習②、聴解:試験練習④)	14	実戦練習⑪(読解:試験練習②、聴解:試験練習④)	14	実戦練習⑪(読解:試験練習②、聴解:試験練習④)
15	実戦練習⑩(読解:長文、聴解:即時応答①)	15	実戦練習⑬(読解:試験練習③、聴解:試験練習⑤)	15	実戦練習⑬(読解:試験練習③、聴解:試験練習⑤)	15	実戦練習⑬(読解:試験練習③、聴解:試験練習⑤)
16	実戦練習⑫(読解:長文、聴解:即時応答②)	16	期末模擬試験	16	期末模擬試験	16	期末模擬試験
17	期末模擬試験	17	総まとめ	17	総まとめ	17	総まとめ

授業方法 (授業の進め方)	主に火曜日に聴解、木曜日に読解の授業を実施する。1 コマの授業内では、主にその日の目標を示した上で、問題を解き、その後、解説をする形をとる。なお、解説の際には学生と質疑応答を交えながら行なう。
到達目標	日本語能力試験 N2(読解・聴解)において、最低でも 80 パーセント以上正答できる力を身につけることを目標とする。また、試験だけでなく実際の生活で最低限必要な能力を身につけることも目標とする。
成績評価の方法と基準	N2 模試における理解度および授業の出席状況、授業態度を総合的に評価する。
授業時間以外に必要な学修	文法参考書『TRY!N2』提出の語彙を予習する。授業のはじめにチェックし（火曜）、覚えていなかった語彙については再度テストをする（木曜）。
履修に当たっての留意点	試験対策の授業ではあるが、適宜文法の確認を挟むため、文法参考書『TRY!N2』を毎時持参のこと。また、質疑応答をしながら進めるので、積極的な参加を望む。ただ問題を解き、チェックするだけでは意味がないので、パターン別の正しい解き方を習得できるように心がけること。

岡山科学技術専門学校

学科名 (国際情報学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	PHP/Web 実習	英文名	PHP/Web Practical training				学科科目 番号	2-8
担当者	小野 英樹	実務経験 の有無	有	選択 必修	選択	科目 区分	専門科目・実習	
開講期	通年	前期：4 時間（回数：17 回）		後期：4 時間（回数：17 回）			授業時数	136 時間
教材 教具	Laravel の教科書 （ソシム）							
担当者の 実務 経験	システム開発会社にて、ソフトウェアのシステム設計・開発、データベース・ネットワーク構築							
【学修内容】 科目のねらい（目的） Web ページを操作する PHP プログラミングとデータベースについて学ぶ。PHP 及びデータベースの概念と基礎を理解し、 Web ページ開発を構築するための技術を身につける。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）				コマシラバス（後 期）				
1	PHP/WEB 実習で目指すもの			1	投稿データの一覧表示			
2	Laravel で何ができるの？			2	投稿データの一覧表示			
3	Laravel で何ができるの？			3	投稿データの一覧表示			
4	Laravel を使うための準備			4	ミドルウェアによるアクセス制限			
5	Laravel を使うための準備			5	ミドルウェアによるアクセス制限			
6	Laravel の仕組み			6	ミドルウェアによるアクセス制限			
7	Laravel の仕組み			7	復習			
8	定期試験			8	定期試験			
9	コードの基本的な入力方法			9	データの個別表示・編集・削除処理「の搭載			
10	コードの基本的な入力方法			10	データの個別表示・編集・削除処理「の搭載			
11	Laravel とデータベースの連携			11	データの個別表示・編集・削除処理「の搭載			
12	Laravel とデータベースの連携			12	テストデータ作成・ページネーション搭載			
13	Laravel とデータベースの連携			13	テストデータ作成・ページネーション搭載			
14	投稿データの作成と保存			14	エラー解決方法			
15	投稿データの作成と保存			15	エラー解決方法			
16	復習			16	復習			
17	前期末試験			17	学年末試験			
授業方法 (授業の進め方)		各自の PC 環境で実習形式を含めて実施する。授業毎に学んだ内容について課題を課し着実に身につけていく。自ら進んで予習復習を行うことが、これまで以上に必須となる。						
到達目標		サーバーを立ち上げ、Laravel で Web サイトを構築できる。						
成績評価の方法と基準		・年間 4 回の中間・期末試験および実習課題：60% ・出席率：20% ・授業態度点：20%						
授業時間以外に必要な学修		・課題・レポートは期日までに作成して提出する。						
履修に当たっての留意点		授業態度点は、授業中の私語や居眠り、机上整理、言葉遣い、授業に取り組む積極的な姿勢があるかどうかなど平素の行動を評価するものである。						

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	ビジネス教養	英文名	Business Skills				学科科目 番号	2-9
担当者	岡本 茂樹	実務経験 の有無	無	選択 必修	必修	科目 区分	一般科目・講義	
開講期	通年	前期：1 時間（回数：17 回）		後期：1 時間（回数：17 回）			授業時数	34 時間
教材 教具	勝つための就職ガイド SUCCESS							
【学修内容】 科目のねらい（目的） 日本での就労を希望する留学生が、就職活動から採用試験までの心構えやスキルを身に付ける。								
【授業計画】 コマシラバス（前期）				コマシラバス（後期）				
1	就職活動の流れ			1	エントリーシート・履歴書			
2	就職活動の流れ			2	エントリーシート・履歴書			
3	就職活動での心構え			3	企業訪問			
4	就職活動での心構え			4	企業訪問			
5	自分を知る			5	面接試験			
6	自分を知る			6	面接試験			
7	職業を知る			7	面接試験			
8	職業を知る			8	筆記試験			
9	志望動機を明白にする			9	筆記試験			
10	志望動機を明白にする			10	どういう会社就職したいのかー現実的な選択			
11	企業情報収集ー就職したい会社			11	どういう会社就職したいのかー現実的な選択			
12	企業情報収集ー就職したい会社			12	どういう会社就職したいのかー現実的な選択			
13	企業研究			13	エントリーシート・履歴書を書く			
14	企業研究			14	エントリーシート・履歴書を書く			
15	エントリーシート・履歴書			15	エントリーシート・履歴書を書く			
16	エントリーシート・履歴書			16	エントリーシート・履歴書を書く			
17	定期試験			17	定期試験			
授業方法 (授業の進め方)	教科書を使った講義のあと、「話す」「書く」「試す」「意見交換」で習ったことの定着を確認しながら就職活動につなげる。							
到達目標	履歴書、エントリーシートが書ける。面接のマナーを身につける							
成績評価の 方法と基準	a：試験成績 60%：定期試験、小テスト、その他アウトプット、加えて日頃の態度・意欲を加えて成績を算出する。 b：出席点 40%：全授業時数の 70%以上の出席が必要。これに満たない場合は試験の成績がよくても認定しない。 a と b を合わせて評価点(100 点満点)とし、60 点以上を認定とする。							
授業時間以外 に必要な学修	アルバイトを通して働くことの意義を考えてみること。							
履修に当たっ ての留意点	聞くだけの講義ではない。「書いてみる」「話してみる」「行動してみる」に積極的に参加すること。							

岡山科学技術専門学校

学科名 (国際情報学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	情報セキュリティ	英文名	Information security				学科科目 番号	32
担当者	法華 秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	後期	2 時間（回数：17 回）					授業時数	34 時間
教材 教具	システム開発と情報技術（ウィネット）							
担当者 の実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） IT や IoT(モノのインターネット)が世界に広がり浸透する中で、情報セキュリティに関わる問題は深刻さが増すと同時に、企業や個人の生活において身近な問題となっている。本科目では、これらセキュリティ上の脅威に関する基礎知識と対応策、そして実際にパソコンやスマートフォンを利用するにあたって気をつけるべき事項について、具体的な事例を基にしたセキュリティ対策の修得を目指す。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）				コマシラバス（後 期）				
1				1	第 1 節 情報セキュリティ			
2				2	"			
3				3	第 2 節 システムへの攻撃手法			
4				4	"			
5				5	小テスト			
6				6	第 3 節 暗号化技術			
7				7	"			
8				8	定期試験			
9				9	第 4 節 認証技術			
10				10	"			
11				11	第 5 節 セキュリティ技術			
12				12	小テスト			
13				13	第 6 節 セキュリティリスク			
14				14	"			
15				15	第 7 節 セキュリティ管理			
16				16	小テスト			
17				17	定期試験			
授業方法 (授業の進め方)		教科書やプリントでの説明と演習問題の解答で理解度を確認しながら進める。						
到達目標		各章ごとのポイントが理解でき、章末問題を解くことができること。						
成績評価の 方法と基準		年間 4 回の中間・期末考査、随時行う小テスト：30% 出席率：30% 授業態度：40% 以上の項目を合計し、評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		授業ごとの予習・復習を心掛ける。特に復習。						
履修に当たって の留意点		授業態度点は、授業中の私語や居眠り、机上整理、言葉遣い、授業に取り組む積極的な姿勢などを評価する。						

岡山科学技術専門学校

学科名 (国際情報学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	資格対策Ⅲ(基本情報)	英文名	Preparation courseⅢ (Fundamental information)				学科科目 番号	33
担当者	平石 明香	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・演習	
開講期	通年	前期：4 時間（回数：17 回）		後期：4 時間（回数：17 回）			授業時数	136 時間
教材 教具	プリント							
担当者の 実務 経験	ソフトウェア開発会社で S E、P G。独立後ソフトウェア開発や Web サイトの作成、講師など							
【学修内容】 科目のねらい（目的） 基本情報技術者試験に合格するための対策授業。幅広い知識が求められるため、深入りしすぎないよう、かつ出題範囲をまんべんなくカバーする								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）				コマシラバス（後 期）				
1	コンピュータの構成要素			1	データベース			
2	コンピュータの構成要素			2	ネットワーク			
3	ソフトウェア			3	ネットワーク			
4	ソフトウェア			4	ネットワーク			
5	基礎理論			5	ネットワーク			
6	基礎理論			6	情報セキュリティ			
7	基礎理論			7	情報セキュリティ			
8	アルゴリズムとプログラミング			8	情報セキュリティ			
9	アルゴリズムとプログラミング			9	システム開発			
10	アルゴリズムとプログラミング			10	システム開発			
11	システム構成			11	システム開発			
12	システム構成			12	マネジメント			
13	システム構成			13	マネジメント			
14	データベース			14	ストラテジ			
15	データベース			15	ストラテジ			
16	データベース			16	ストラテジ			
17	定期試験			17	定期試験			
授業方法 (授業の進め方)		プリントでの説明と演習問題で理解度を確認しながら進める。 前時間の復習ミニテストで始める。						
到達目標		全復習ミニテスト 6 割以上の正答率を目指す。						
成績評価の 方法と基準		・年間 4 回の中間・期末考査：50% ・随時行う復習ミニテスト：20% ・出席率：30% 以上の項目を合計し、評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		授業ごとの予習・復習、特に復習を心掛ける。						
履修に当たって の留意点		書籍でもネットでもいいので、とにかく自分で調べてみる。そして、とにかく読むこと。						

岡山科学技術専門学校

学科名 (国際情報学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	システム作成実習	英文名	System construction				学科科目 番号	34
担当者	小野 英樹	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・実習	
開講期	通年	前期：14 時間（回数：17 回）		後期：14 時間（回数：17 回）			授業時数	476 時間
教材 教具	参考：システム開発技術（ウィネット）							
担当者の 実務 経験	システム開発会社にて、ソフトウェアのシステム設計・開発、データベース・ネットワーク構築							
【学修内容】科目のねらい（目的） 現代社会において、ソフトウェアシステムすなわちソフトウェアを核とするシステムやサービスが基盤として不可欠である。本実習では、要求分析・設計・実装・テスト・運用といったシステム構築のためのエンジニアリングプロセス全体について学び、それに基づきシステムを作成していく。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）				コマシラバス（後 期）				
1	システム開発の概要説明			1	プログラム実装			
2	システム開発のテーマ検討			2	プログラム実装			
3	システム開発のテーマ検討			3	プログラム実装			
4	要求分析			4	プログラム実装			
5	要求分析			5	プログラム実装			
6	要求分析			6	プログラム実装			
7	要求分析			7	テスト（単体、結合）			
8	システム設計			8	テスト（単体、結合）			
9	システム設計			9	テスト（単体、結合）			
10	システム設計			10	運用テスト（実環境）			
11	システム設計			11	運用テスト（実環境）			
12	システム設計			12	ドキュメント作成			
13	システム設計レビュー			13	ドキュメント作成			
14	プログラム実装			14	ドキュメント作成			
15	プログラム実装			15	プレゼン準備			
16	プログラム実装			16	プレゼン準備			
17	プログラム実装			17	発表会			
授業方法 （授業の進め方）		教科書やプリントでの説明と演習問題の解答で理解度を確認しながら進める。						
到達目標		各章ごとのポイントが理解でき、章末問題を解くことができること。						
成績評価の 方法と基準		成果物：30% 出席率：30% 授業態度：40% 以上の項目を合計し、評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		授業時間には限りがあるため、自宅でも積極的に自分に課せられた役割を果たすため、作業をおこなうこと（計画に支障が出ないようにすること）。						
履修に当たって の留意点		授業態度点は、授業中の私語や居眠り、机上整理、言葉遣い、授業に取り組む積極的な姿勢などを評価する。						

岡山科学技術専門学校

学科名 (国際情報学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	ビジネス日本語Ⅲ	英文名	Business Japanese Ⅲ				学科科目 番号	35
担当者	平石 明香	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	一般科目・講義	
開講期	通年	前期：2 時間（回数：17 回）	後期：2 時間（回数：17 回）				授業時数	68 時間
教材 教具	プリント							
担当者の 実務 経験	ソフトウェア開発会社で S E、P G。独立後ソフトウェア開発や Web サイトの作成、講師など							
【学修内容】 科目のねらい（目的） ビジネスの世界で使われるビジネス用語に困らないよう、ビジネス日本語の「聴く・読む・話す・書く」を鍛える。								
【授業計画】			コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）		
1	社内メール		1	売り上げ成績		1	売り上げ成績	
2	社内メール		2	売り上げ成績		2	売り上げ成績	
3	会議準備		3	個人情報		3	個人情報	
4	会議準備		4	個人情報		4	個人情報	
5	電話とお詫び		5	顧客満足度		5	顧客満足度	
6	電話とお詫び		6	顧客満足度		6	顧客満足度	
7	お知らせ文書		7	出張		7	出張	
8	お知らせ文書		8	出張		8	出張	
9	キャッチコピー		9	提案		9	提案	
10	キャッチコピー		10	提案		10	提案	
11	同僚との雑談		11	インタビュー		11	インタビュー	
12	同僚との雑談		12	インタビュー		12	インタビュー	
13	値引き交渉		13	日程調整		13	日程調整	
14	値引き交渉		14	日程調整		14	日程調整	
15	営業活動		15	展示会		15	展示会	
16	営業活動		16	展示会		16	展示会	
17	定期試験		17	定期試験		17	定期試験	
授業方法 (授業の進め方)		教科書やプリントでの説明と音声教材で理解度を確認しながら進める。						
到達目標		話し手の説明で聞き手が理解できること。それが行動につながること。						
成績評価の方法と基準		・年間 4 回の中間・期末考査：50% ・随時行う復習ミニテスト：20% ・出席率：30% 以上の項目を合計し、評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に必要な学修		その日の教材をその日のうちにもう一度読むこと。						
履修に当たっての留意点		機会を見つけて日本語で話すこと。メディアを活用して日本を聴くこと。						

岡山科学技術専門学校

学科名 (国際情報学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	一般教養	英文名	General Education				学科科目 番号	37
担当者	小野 英樹	実務経験 の有無	無	選択 必修	必修	科目 区分	一般科目・講義	
開講期	通年	前期：1 時間（回数：17 回）		後期：1 時間（回数：17 回）			授業時数	34 時間
教材 教具	プリント							

【学修内容】科目のねらい（目的）

日本での就労を希望する留学生が知っておくべき最低限の一般知識

【授業計画】 コマシラバス (前期)		コマシラバス (後期)	
1	性格検査	1	国語(日本語):語彙
2	性格検査	2	国語(日本語):語彙
3	性格検査	3	国語(日本語):語彙
4	SPI 非言語検査	4	国語(日本語):語彙
5	SPI 非言語検査	5	国語(日本語):語彙
6	SPI 非言語検査	6	国語(日本語):語彙
7	SPI 非言語検査	7	社会:地理
8	SPI 言語検査	8	社会:地理
9	SPI 言語検査	9	社会:地理
10	SPI 言語検査	10	社会:地理
11	SPI 言語検査	11	社会:地理
12	国語(日本語):漢字	12	社会:経済
13	国語(日本語):漢字	13	社会:経済
14	国語(日本語):漢字	14	社会:経済
15	国語(日本語):漢字	15	社会:経済
16	国語(日本語):漢字	16	社会:経済
17	定期試験	17	定期試験

授業方法 (授業の進め方)	プリントでの説明と演習問題で理解度を確認しながら進める。 記憶問題、解法理解問題については復習ミニテストを行う。
到達目標	対日本人と同等レベルの問題を解くので 40%以上の正答を目指す。
成績評価の方法と基準	・年間 4 回の中間・期末考査：50% ・随時行う復習ミニテスト：20% ・出席率：30% 以上の項目を合計し、評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。。
授業時間以外に必要な学修	持っている情報端末でニュースを見聞きすること。
履修に当たっての留意点	授業中の勉強だけでは時間が足りない。記憶の定着を図る意味でも、復習は絶対に必要。